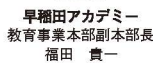


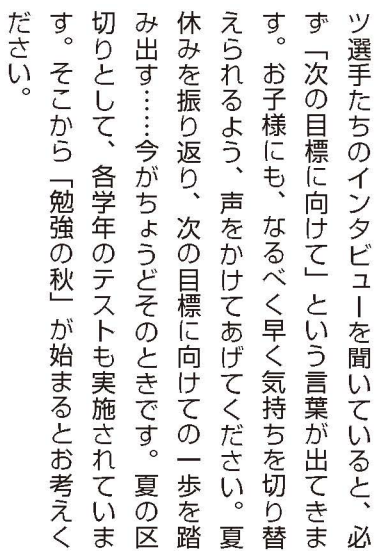
福田貴一先生の



福が来る**アドバース**

「勉強の秋」に向けて

充実した期間の後に喪失感を覚えてしまうのは、小学生に限ったことではありません。例えばこの夏甲子園に出場した球児たちも、大会が終わった今、満足感や充実感の次には、心に穴が開いたような気分を味わっているのではないだろうか。ただ、大きな大会を終えたスパー



東京大学に約70年ぶりの新学部

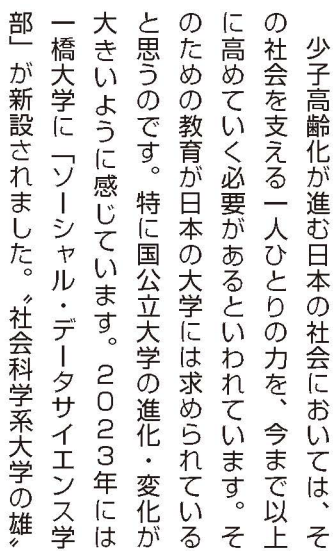
東京大学としては約70年ぶりの新学部ということで、「学士から修士までの一貫プログラム」「東大初の外国人学部長」「定員の半数は海外からの留学生を想定」など、さまざまな新しい取り組みが予定されているようです。

東京大学は以前から、「秋入学構想」に言及していました。それは世界標準に合わせるため、そして海外から優秀な教授や留学生に來てもら

実は 私の父も大学教授をしており、一時はヨーロッパの大学に交換教授として招聘され、数年間そちらの大学で勤務しておりました。そのときに、こぼしていたのを覚えています。「4月から担当している授業やゼミに参加している生徒を、9月からは後輩に任せなくてはならない。私のゼミを選んで『学びたい』と言ってくれた学生たちを、中途半端な状態で残していくのは残念だよ」と、そんなことを言っていました。当時でも、世界の約70パーセントの国が「9月新学期」となっていたと聞いています。

大学はどのように変わるか

「UTokyo College of Design」が現時点で発表している2027年秋入学の「入学者選抜の



変わっているのは入試制度だけではありません。『U Tokyo College of Design』に代表されるように、大学で学ぶ内容がより大きく変わっていきつつあるように感じています。「どの大学に入学し、卒業したか」ではなく、「どこで、どのように、何を学んだか」が問われる時代になってきていると思います。

少子高齢化が進む日本の社会においては、その社会を支える一人ひとりの力を、今まで以上に高めていく必要があるといわれています。そのため、教育が日本の大学には求められていると思うのです。特に国立大学の進化・変化が大きいように感じています。2023年には一橋大学に「ソーシャル・データサイエンス学部」が新設されました。社会科学系大学の雄


福田 貴一の
四つ葉café




中学受験をお考えの小学3・4年生のお子様をお持ちの保護者様のためのブログです。

早稲田アカデミー
教育事業本部
副本部長

福田 貴一

著書に『中学受験 身につくチカラ・問われるチカラ』（新星出版社）。ブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。

詳細はWebをご確認ください。

早稲田アカデミー

Q

検索

→



左の二次元コードを読み込んでご確認ください

スマートフォンでの閲覧